

<麦類の栽培ポイント>

1 湿害対策の徹底

麦は播種期・生育期・登熟期の全栽培期間を通して湿害を受けやすい作物です。安定した収量・品質確保のために排水対策を徹底しましょう。

- ・ 排水溝の設置は早いほど効果的です。
まだ設置していない場合は、圃場の周囲に排水溝を設置します。
- ・ 排水性が悪い場合は、圃場内にも5~10m間隔で排水溝を設置します。
- ・ 排水口は低く掘り下げて圃場外の排水路につながります。
- ・ 時々排水溝を点検し、必要に応じて溝さらいを行いましょう。

2 麦踏み

- 12月中に麦の3葉目が伸びてきたら1回目の麦踏みをしましょう。
生育が遅れている場合は無理に踏まず、3葉目が出てきたのを確認してから実施します。
- 麦踏みは年内1回、年明け~茎立期直前2回以上が目安です。
麦踏みの間隔は10日から2週間程度あけるようにします。
- 向こう3か月の平均気温は平年より低い確率が40%との予報です。寒いと土壤が凍結して根張りが悪くなる危険があります。茎立ち期直前までしっかり麦踏みをしましょう。
※降雨後、土壤水分が高いときの麦踏みは逆効果です。圃場が乾いてから麦踏みしましょう。

麦踏みの効果 →

- | | | |
|-------------------|---|-----------|
| ① 分けつを進める | } | 12~2月の厳寒期 |
| ② 根張りを良くし、耐寒性をつける | | |
| ③ 霜柱などによる凍上害防止 | | |
| ④ 暖冬時、早すぎる茎立ちを抑える | } | 茎立ち期直前 |
| ⑤ 穂ぞろいを良くする | | |

3 雑草防除

麦の発芽後に雑草の発生が目立つ場合は、下表を参考に除草剤を散布しましょう。

R2.11.12現在

使用時期	雑草名等	除草剤	使用回数	
播種後~麦3葉期 (雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで)	一年生雑草	リベレーターフロアブル	1回	
播種後~麦3葉期 (雑草発生前~発生始期)	一年生広葉雑草、 スズメノテッポウ	ハーモニー細粒剤F	1回	どろりかを使用
播種後~節間伸長前		ハーモニー75DF水和剤		
穂ばらみ期まで(雑草生育初期)	畑地一年生広葉雑草	アクチノール乳剤	2回以内	
大麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2~4葉期) 但し、収穫45日前まで	一年生広葉雑草	エコパートフロアブル	2回以内	
小麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2~4葉期、ヤエムグラ2~6節期) 但し、収穫45日前まで				

※ 除草剤(農薬)を使用するときは、ラベルの表示を確認して正しく散布してください。

※ 麦の生育期に茎葉処理剤を使用する場合、雑草の生育が進むと効果が劣るので注意しましょう。

(裏面あり)



昨年産は、調製時にカラスノエンドウやヤエムグラなどの種子が見られました。

☑カラスノエンドウ

出芽深度（出芽した芽の深さ）が深く、出芽も長い期間続くため、土壌処理剤だけでは十分な効果が期待できません。

また、種子が麦と同じくらいの大きさを篩分けがしづらい。

アイオキシニル乳剤（アクチノール乳剤）は効果があります。

☑ヤエムグラ

カラスノエンドウと同じく出芽深度が深く、出芽も長い期間続くため、土壌処理剤だけでは十分な効果が期待できません。

収穫期に残草が多いと麦の倒伏を引き起こし、品質低下の原因に、機械に絡みつ়くことで、作業性低下の原因になります。

アイオキシニル乳剤（アクチノール乳剤）、ピラフルフェンエチル水和剤（エコパートフロアブル）は効果があります。



令和3年産 水稻肥料農薬 予約取りまとめ実施中です

○新規掲載肥料

商品名	とちぎの星専用プレミア (N12-P12-K12-Mg1-Si16)
特徴	窒素の速効性と緩効性の割合は6:6で生育後半まで窒素が安定して効く。 ケイ酸の効果で根の張りが良くなり、初期の生育促進と倒伏耐性の向上。 光態勢の改善による光合成能力の向上。

○新規掲載除草剤

初中期一発剤	初中期一発剤 アシュラ1キロ粒剤・ゼータタイガー1キロ粒剤・ イザナギ1キロ粒剤・イノーバDXアップ1キロ粒剤5 1
中後期剤	ツイゲキ1キロ粒剤・ウィードコア1キロ粒剤・アレイルSC

※予約取りまとめの締め切りは12月30日となっておりますので宜しくお願い致します。